

※正答率

	国語A	国語B	数学A	数学B	2教科
勝田中	79	78	61	41	259
全国	77.4	72.2	64.6	48.1	262.3

※結果分析(○できている ●できていない)

<学力調査>

【国語A】

- 文章の要旨を捉えて、場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解できている。
- 文章構成を工夫して書いたり、目的に応じて資料を活用できている。
- 文脈に即して漢字を正しく書くことができ、語句の意味を理解して適切に使えている。
- 楷書と行書の違いが理解できている。
- 語句の知識が不十分である。(筆脈の意味がわかっていない。)
- 文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える力に課題がある。また表現の種類と特徴・効果について整理が不十分である。

【国語B】

- 文章の内容を理解し、問いに対して適切なものを抜き出すことができている。
- 理由を説明するために、文章から必要な情報に着目して見通しを持つことができている。
- 比喩表現の仕方について自分の考えを書くことができている。
- 問題で提示されている情報を一部分だけ捉えて、全体が見えていない。
- 要求された条件が二つあるときに、どちらか一つ満たさないまま解答している。

【数学A】

- 正負の計算、文字式の計算、関数の基本問題などの計算問題はできていた。
- 連立方程式の計算や比例・反比例の式を求める問題ができていない。資料の整理の代表値の意味が理解できていない。
- おうぎ形の弧の長さ・円柱の体積の求め方が正確にできていない。
- 学習内容を復習して定着することができていない。

【数学B】

- 規則性に着目して文字式で表す問題、表やグラフを読みとる問題、度数分布表の度数を求める問題はできている。
- 証明問題で筋道をつけて書き進める力が弱い。
- 長文の中の多くの情報から重要な用語や数値を選び出す力、問われていることに適切に答える力が弱い。
- 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する力や記述で答える力が弱い。

<学習状況調査>

- 生徒全員が、自分にはよいところがある、学校に行くのが楽しい、学校の規則を守っている、いじめはどんな理由があってもいけない、人が困っているときには進んで助けると答えている。8割以上の生徒が、家の人と話すことが多く、将来の夢を持っていると答えている。
- 家では宿題、復習、予習をしていると全員が答えており、ゲームやスマホの時間は県・全国より少ない。
- 学校の授業時間以外での一日当たりの読書時間が少ない生徒の割合が高く、テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めている生徒は全国平均を下回っている。

<学校としての対応・目標>

国語で全国平均を上回り、数学で全国平均を下回っています。学習事項の定着に向け、努力します。

- ①授業に力を入れます。
 - ・毎時間の中で復習(小テスト、暗記、重要事項の発問)の時間を設ける。
 - ・ICT機器などの視覚的な教材を使ったわかりやすい授業を工夫する。
 - ・じっくり考える場面、活動する場面、発表する場面を設定する。
- ②5教科でスモールステップとして、学んだことの定着のために小テストを行います。
- ③5教科の授業を中心に、図書室を利用した調べ学習を進めます。
- ④漢字の力をつけます。全校で漢字ステップアップ20問の取組を行います。
- ⑤英単語の力をつけます。全校統一100問テストを行います。
- ⑥学習習慣をつけられるようにします。毎日の課題(デイリーワーク)と週末課題(ウイークリーワーク)によって、一定量の学習時間を確保して、毎日復習をし、必ず提出する習慣をつけます。
- ⑦3年生は10月から週2回、放課後教室で5教科の実力をつける取組も開始します。

<保護者の皆様へお願い>

2学期になり、受験に向けて力をつけなければならない時期となりました。上記のように授業や放課後の時間などで学力補充をします。テスト後には課題とその提出状況をテスト連絡票でご家庭にお知らせしています。提出の遅れも含め、お子様の家庭学習の達成度をご確認ください。復習に力を入れた家庭学習の習慣が身につくよう、励ましの声をかけてくださると子どもたちもがんばれると思います。スマホの使用やテレビやゲームについては家庭で使用時間のルールを決めていただき、お子様とのコミュニケーションの時間を大切にしてください。お子様方の夢を実現することができるよう、学校と家庭とが協力して支援をしたいと思っております。よろしく申し上げます。